

だんだん



ねこセラピー

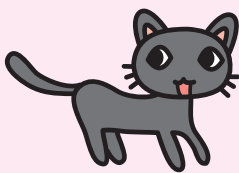
医師 岡 明彦



こなんホスピタルに非常勤内科医としてお伺いするようになって、早いもので一年半が過ぎようとしています。

朝、駐車場に着くと、目の前に宍道湖が広がり、何とも言えずホッとします。もともと、実家の平田から宍道湖を眺めていましたが、全く別の美しい眺めに驚かされます。外来では、猫舌で子供な僕に、ほどよい温度で、ミルクと砂糖たっぷりのコーヒーを用意して下さり、感謝しております。

最近、外来ではストレスが誘引になって、腹痛や便秘・下痢を繰り返す「過敏性腸症候群」が増えています。みなさんはどのようにストレス解消をされているでしょうか。



我が家は、3年前に道端で鳴いていた子猫を連れて帰ってからというもの、毎日癒されています。全体が黒で胸に白い斑点があるところがツキノワグマみたいなので、「クマ」と名付けました。毎日、玄関でお見送り・お出迎えをしてくれ（るように見え）、夜は布団と一緒に寝てくれるので暖かいです（夏も）。クマが来てからは夫婦喧嘩をした記憶はありません。

最近、このような動物の癒し効果を研究する学会（日本動物介在教育・療法学会）の存在を知りました。以前からドルフィンセラピーが自閉症等に効果があることは聞いていましたが、他にも犬や猫、鳥、うさぎ、馬によるアニマルセラピーが認知症や高血圧、さらに癌にも有効と言われているようです。実際、



クマ 3さい ♂

クマの自由な姿を見ると「他人の評価ばかり気にせず、自分自身でいいんだ」と思われます。また、精神的な癒しだけでなく、肉体的にも猫がゴロゴロと喉を鳴らすときに出る低周波は傷を癒し、免疫能を高める効果があるようです。ストレスと胃腸の病気、免疫と発癌は密接に関係しており、アニマルセラピーは治療だけでなく、予防医学の観点からも興味深いと思います。

動物介在療法士という資格があるそうです。近い将来、クマと一緒に出勤するかもしれません。

こなん祭り



5月28日にこなん祭りを開催致しました。

今年は東日本大震災で被災された方への義援金を目的としたフリーマーケットを行いました。

皆様のご協力でたくさんの義援金が集まりました。日本赤十字社を通して被災された皆さまにお届け致しました。

お祭りの方も今年も多くのご家族・地域の方方におこし頂き、舞台・模擬店など盛況に行うことが出来ました。ありがとうございました。



宍道町湖上花火大会に出かけました

日本の夏はやっぱり花火！

ということ、七月三十日に行われた宍道町花火大会に入院患者様と出かけました。地元企業様の協力で、打ち上げのすぐ近くでかぶりつきの観覧です。

少し早めに出かけましたが、ウチワであおぎつつスイカを食べながら、今か今かと打ち上げを待っている時間も、季節感があり良いものです。

いよいよ打ち上げ時間が近づき期待も次第に高まっています。患者様とのカウントダウンが始まり、そして一発目の花火の打ち上げ。待つてました！と患者様からも歓声がわきおこります。大小の花火や仕掛け花火などが目の前で広がります。しばらくすると西の方でも平田の花火が見えたりと、今年は2箇所の花火を一緒に見ることができ少し得をした感じでした。

目玉は最後の太玉十五号です。山陰初の六百メートル花火が打ち

あがると、その大きさもさることながら「ドカーン」という地響きがカラダ全体に伝わってきました。そしてその日一番の歓声とともに今年の花火大会が終了です。

地域行事で入院生活とは違った場面を体験してもらい、患者様に元氣になってもらえればという思いで毎年参加させてもらっています。皆様の笑顔がたくさん見られ、患者様のみならず、職員も大満足の花火大会でした。

最後に、ご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。



新 人 研 修 会

リハビリテーション科
田中 哲成

四月より期待を胸に同仁会の一員として仕事に邁進し、早や三カ月が過ぎました。看護職・介護職・栄養課・事務職・リハビリ科から新人十一名が集い、お互いの仕事に対する目的意識の確立を行うため、七月十二日(土)に奥出雲で新人研修会が開かれました。奥出雲は櫻井理事長のご生家であり、櫻井家住宅並びに庭園は国・県の重要文化財であることが知らされました。奥出雲は良質の砂鉄が採れ、それを製鉄するための燃料となる広葉樹が容易に手に入ったため製鉄業(たたら製鉄)が盛んでした。櫻井家は「菊一印」の銘鉄を創り出した業績を高く評価され、藩主から「鉄師頭取」の職を命ぜられました。鉄や鋼を生産させ、それを藩で売りさばくことで松江藩の重要な財源となりました。藩主の信頼も篤く、その後も歴代「鉄師頭取」として広く地域内の鉄山業を総取りしきりました。櫻井家御先祖の先見性により出雲の地に産業がもたらされ、繁栄して来たのだと知りました。



新人一行がまず案内されたのが、可部屋集成館でした。それは奥出雲櫻井家累代にわたり伝えられてきたものを集大成した歴史資料館でした。櫻井家の始祖は戦国の武将塙團右衛門(野戦の神)であり関ヶ原合戦で鉄砲隊長を務め、後に大阪夏の陣で華々しく散りました。その後子孫は広島島の武將に仕え可部郷に住まれ、「野だたら」を始められました。屋号を可部屋とされたのも広島が櫻井家の鉄山業の始まりだったからだとなりました。松江藩は鉄という大きな財源を得たため、櫻井家には第七代藩主松平不昧公を最初に、歴代藩主が六回にわたって来駕されました。また藩の重職を担う方々も足を運ばれました。そのため資料館には甲冑や鉄砲、軍配、巻物などの他に書画(狩野派)や茶器をはじめ優れた美術工芸品がその往時の姿が分かるように展示されていました。そして何よりも印象に残ったのは櫻井御当家が優しい笑顔で我々のために展示物の紹介をして下さったことでした。

次に重要文化財である櫻井家住宅・庭園へ案内されました。古くは正保元年(一六四四)に建てられ、この地に居を構えられました。お成りの間と庭は享保三年(一八〇三)第七代藩主松平不昧公のお成り時に作られました。お成りの間を囲む縁側を見ると二段になっており、上段をお殿様が、下段をお付きの方が歩かれたことが分かり、縁側の左端の杉戸の奥には茶処が作られており、ここでお殿様にお茶を振舞われた様子が目に浮かぶようでした。また庭園には落差のある滝や客殿、茶室もありました。木陰に入ると冷涼感があり、庭の下を流れる深流の音や蝉の声など、お殿様が拝見された風景を当時の姿そのままに我々も見ることができたことに喜びを感じました。次に我々は客殿に招かれ櫻井理事長から病院設立・増設エピソードや地域連携医療の大切さを知らされ、福田事務長からは成年後見制度のお話や職員が一丸となって同仁会を支えていく心意気を学びました。櫻井家御先祖の勇氣と先見性のDNAは脈々と櫻井家に受け継がれました。御当主は恵まれた環境にありながら社会の中で苦しんでいる方々に目を向けられ、まだ近隣に存在しなかった新しい事業(精神科病院)を起こされました。理事長は精神科医療に新たな風を吹き込まれ、事業拡大も進められました。我々はこのような方々と一緒に働けることを誇りに思いました。



だんだん

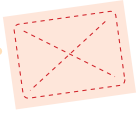
いつもきれいな玄関に！

週二回（火曜日／金曜日）十時三十分からボランティア活動として、石飛蓉子さんに玄関の掃除をしていただいています。

石飛さんには、平成二十二年七月から活動していただいています。一年以上にわたり、暑い日も寒い日も……変わらず、下駄箱の中やスリッパをきれいにしていただいています。

「皆さんに喜んでもらえる活動が出来て、楽しい」と笑顔で活動してくださる石飛さん。病院の顔である玄関をいつもきれいにしていただき、職員はもちろん来院いただく全ての皆さんが、感謝しています。

これから、無理をなさらず活動を継続していただき、ますよう、よろしくお願ひ致します。



駐車場の木の伐採

病院の西側にある職員用駐車場の一角に一本の雑木が生えていましたが、年々大きくなっており、電線や建物に当たり非常に危険な状況にありました。

この度、地元の「下白石自治会」の皆さまが、その木の横にある水路掃除をされた際に、一緒にその木の伐採をしていただきました。

暑い時期の作業だったにもかかわらず、さすが日頃から共に作業をされているためか、抜群のチームワークを発揮し、手際良く切り倒されました。

倒された木は小さく切り分けられ、松江市の収集車によって回収されましたので、今ではそこに木があったことなど忘れてしまうほど、さっぱりしました。

今回お世話になった下白石自治会の皆さま方には、この紙面をお借りして深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



CSセット（ケア・サポートセット）のご紹介

9月1日より、導入しましたCSセットの紹介をします。

これまででは、入院時に生活に必要な物品（着替え、タオル類、日用品など）をご用意いただく必要がありました。

このCSセットをお申込みいただきますと、タオル類の他、衣類、シャンプー、ボディソープ、ティッシュなど入院生活に必要な物品を自由に好きなだけ使うことができます。

月に定額の費用はかかりますが、清潔な物を必要な時に必要な数だけ使っていただくことができ、タオルや衣類などが不足した時に、その都度補充する手間からも解放されます。

こんな方にお勧めしています！

- 1日にたくさんのタオルが必要で、何枚持っていってもキリがない！
- ティッシュなどの日用品が無くなっても、忙しくてなかなか補充ができない！
- 病院までの交通手段が無く、洗濯物の回収・補充が大変！
- 面会の時は衣類やタオルなどで大荷物になる！

プラン	利用品目	費用(月額)
Aプラン	室内着・バスタオル・フェイスタオル・オシボリ	550円
Bプラン	バスタオル・フェイスタオル・オシボリ	300円

A・Bプランを申し込まれた方は、食事用エプロン(月額100円)、私物洗濯(大ネット700円、小ネット400円)が利用できます。また、日用品(ボックスティッシュ、ウェットティッシュ、歯ブラシ、歯磨き粉、口腔ケアセット、ベビーローション、リンスインシャンプー、ボディソープ)も自由に使用できます。

まだお申込みでない方も一度ご検討してみてください。

こなん文化祭

10/22(土)

午前10:30～午後3:30

さわやか会

10/15(土)

午後1:30

高齢者家族の会

11/19(土)

午後1:30



医療法人 同仁会
こなんホスピタル
広報委員会

平成23年9月20日発行
松江市宍道町白石129-1
TEL.0852-66-0712(代)

印刷 土江明文社

編集後記



三月十一日の一週間後、ラジオから、十五才男子生徒の声「……夫は、ようしゃなく全てを奪って行きました。……しかし、天をうらまず運命に耐え助け合って生きて行きます。……」胸が熱くなりました。

八月のある日、加山雄三さんの声が流れました。「今年は湘南フェスティバルを中止しようと思っていたけれど、漁師さんが言ったんです、『僕たちは海に食べさせて貰ってきた。海は恨みません……。』だから今年もやります。」

自然と闘うのではなく、自然に感謝しながら、自然と共に生きるとはどういう生き方なのだろう……と思いつきながら、東北の支援を長く続けて行きたいと思いました。